



## ■講習会・セミナー・見学会

### ●講習会

#### 全建連・耐震診断改修施工指導者講習会(2日間連続)

主催: (財)日本建築防災協会、工務店サポートセンター  
 参加条件: 全建連会員又は JBN 会員であり、建築士資格保持者。本講習では PC を使用しますので、CD を読み込めるノート PC をご持参下さい。  
 修了証及び認定証: 講習後に行う審査試験に合格した方には工務店サポートセンター発行の「耐震診断改修施工指導者」の認定証を交付します。また、初日及び2日目は、(財)日本建築防災協会の修了証がそれぞれ発行されます。  
 1日目(9:50~16:40)「木造住宅の耐震診断・耐震補強技術者養成講習会」  
 2日目(9:00~18:00)

#### ●広島会場 1月18日(火)、19日(水)

会場: ホテルセンチュリー21広島「2階フォルザ」  
 〒732-0824 広島市南区的場町1-1-25  
 定員: 50名

#### ●熊本会場 1月22日(土)、23日(日)

会場: 熊本市建設技術専門学校 会議室 〒860-0812 熊本市南熊本3丁目8-16  
 定員: 35名

#### ●帯広会場 2月3日(木)、4日(金)

会場: 十勝産業振興センター 〒080-2462 帯広市西22条北2-23-9  
 定員: 30名

#### ●大阪会場 2月9日(水)、10日(木)

会場: 西日本建設業保証(株)建設交流会館702号室  
 〒550-0012 大阪市西区立売堀2丁目1番2号  
 定員: 70名 問い合わせ先: 事務局 坂口

#### 【特例住宅リフォームカウンセラー】資格講習会

日時: 1月20日(木) 13:30~16:30  
 会場: ホテルセンチュリー21広島「4階サファイア」  
 〒732-0824 広島市南区的場町1-1-25  
 定員: 30名(先着順)

受講対象者: 全建連会員又は JBN 会員 問い合わせ先: 事務局 坂口

#### 【山辺豊彦の木構造講習会】

「木構造を理解したい人のための徹底12時間講習」  
 「ヤマベの木構造」をテキストに、木造住宅の構造計画・基礎の設計、力の流れを考えた架構の組み方、断面設計のポイントなど、基礎から応用までを演習を交えながら徹底的に学び、木造住宅はもとよりこれからの木造建築物について根拠をもった設計・施工、破たんのない構造計画ができることを目指した講習会です。

この機会に木構造力の向上にお役立て下さい。

日時: 1日目 2月22日(火) 10:00~17:00

2日目 3月 1日(火) 10:00~17:00

主催: 工務店サポートセンター 共催: 全建連、全建総連

会場: 2月22日 建設プラザ東京(東京土建) 大会議室

3月 1日 全建総連会館 大会議室

講師: (有)山辺構造設計事務所 代表 山辺 豊彦氏

テキスト: 「ヤマベの木構造」(当日配布します)

持ち物: 筆記用具・電卓・計算用紙 参加費: 無料

受講対象者: 全建連会員又は JBN 会員

定員: 50名 問い合わせ先: 事務局 坂口

#### 【長期・ちきゅう住宅国産材モデル型式マニュアル講習会】

長期・ちきゅう住宅国産材モデルの技術審査の円滑をはかる目的で、長期優良住宅型式認定を取得した内容がこのほど型式マニュアルとして刊行されました。

型式の技術基準として「耐震等級2」、「省エネルギー対策等級4(IV地域)」、「維持管理等級3」、「劣化対策等級3」を満たすもので、解説編と申請編で構成されています。

これをテキストにした講習会を下記の日程・会場で開催致します。

講習修了者には、工務店サポートセンターが修了証を発行すると同時に、型式技術者として登録・管理します。

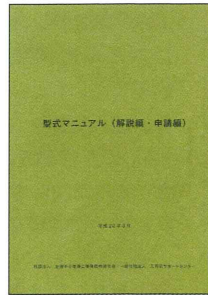
主催: 工務店サポートセンター

共催: 全建連・全建総連

開催日時 会場 定員

2月10日(木) 東京会場 定員300名(予定)

2月17日(木) 広島会場 定員150名(予定)



2月18日(金) 福岡会場 定員150名(予定)

2月24日(木) 大阪会場 定員150名(予定)

2月25日(金) 名古屋会場 定員200名(予定)

受講対象者: 全建連会員又は JBN 会員

問い合わせ先: 事務局 坂口

### ●各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→ <http://jbn-support.jp/> /トピックス /研修・講習会よりお申し込み下さい。

## 刊行物のご案内

### ●JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編

(財)住宅金融普及協会から2010年11月改訂版が発行されました。改訂を機に、長期優良住宅の完成引き渡しの際、顧客へお届けする住宅履歴情報の基本事項のリストなどが追加されました。顧客の住まいの維持管理への理解を深め、「いえもりかて」との関係を一層効果のあるものにするためにご利用ください。

・JBN会員には一冊無料配布します。「いえもりかて」を利用する場合には、建物引き渡しの際の付帯資料として義務づけています。その場合の頒価は、1,000円/冊(税・送料別)

・この冊子をテキストにした講習会を、今年から全国各地で順次開催する予定です。

### ●「木造建築士資格研修テキスト」平成22年度版

「長期・地域木造優良住宅」の信頼できる担い手に木造建築士木造住宅の設計から施工、完成後の点検・維持にいたるまで、多岐にわたる情報の掌握、知識・経験にもとづく総合的な能力を備えた人材が求められています。

木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えています。

本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書となっています。

工務店サポートセンター編、2010年2月15日配本

定価 3,500円(消費税込)、発行・井上書院

## 長期優良住宅関連の刊行物

### ●「長期ちきゅう住宅国産材モデル・展示住宅ガイドブック」

25事例の展示住宅の詳細をガイドブックとして刊行。一事例あたり6ページ構成で紹介しています。A4版・164ページ。1,000円/冊(税・送料別)

### ●「長期・ちきゅう住宅」仕様書

全建連・工務店サポートセンター刊行・09年5月、A4・118ページ。

本仕様書を使用した講習会の順次開催中です。

### ●工務店サポートセンター監修・編

「木造住宅・工事管理の実務」彰国社から出版の予定です。編集段階で、長期優良住宅対応の補足作業を組み込んだため、遅れました。近日発刊の予定です。

### ●長期優良住宅マニュアル(Ⅰ.申請編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年5月、A4・210ページ。

### ●長期優良住宅マニュアル(Ⅱ.建材編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年8月、A4・350ページ。

### ●長期優良住宅マニュアル(Ⅲ.住宅履歴編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年10月、A4・85ページ。

### ●2010年「ちきゅう住宅長期優良国産材モデル」パンフレット

「日本の木で、日本の家で、日本の家」を基本的コンセプトに、「CASBEEすまい(戸建)」の評価導入などをもとに「街なか型」、「地域環境配慮型」の新しい取り組みを加えました。1,500円/100部で頒布。

### ●「長持ちする家づくりのすすめ」顧客向けパンフレット

A3判一枚半折でA4見開きのカラー・パンフレットです。

送料実費で頒布。事務局までお申し込み下さい。

## JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織が JBN(全建連の工務店ネットワーク)です。工務店サポートセンターでは「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにさまざまな面から支援します。

## 暮 兪 記 (ほやき)

長期優良住宅法、公共建築物等木材利用促進法などの施行によって、木材を扱える担い手育成は急務という声が増しに高まっている。では、その担い手像は、というと伝統大工、スーパー棟梁、木構造がわかる設計者、プレカット構造技士、木材利用コーディネータ、木材調達コーディネータ、木材プロデューサー、フォレスト・マイスターなど、名称、資格もさることながら求める役割も機能も多彩だ。▼この就職難の時代に産業の現場と教育の間に生じているミスマッチは深刻といわざるを得ない。必要な人材を産業が挙げて育てる。育てたところが得をして、浪費するだけのところは費用を負担する。まずはそんな仕組みをつくるのに業界をあげて知恵をしぼる必要がある。(F)

# 工務店サポートセンター レポート

全建連の工務店ネットワーク

## JBN

Japan Builders Network

■JBN会員数(2010年12月10日現在)

正会員 1,643社、協力会員 105社(うち情報会員31社)

- 新年のご挨拶
- 事業報告・委員会活動
- 会員団体の紹介「青森県優良住宅協会」、JBN 会員工務店統計
- お知らせ

2011  
January  
No.18

1  
月号

発行人: 藤澤好一  
 ©工務店サポートセンター  
 禁無断転載



## さらなる飛躍の年に

新春、あけましておめでとうございます。

工務店サポートセンターが法人化して2年、JBN登録会員も協力会員を入れると2,000社に届くところまでに発展し、名実共に日本一の工務店集団になりました。

JBN登録工務店は大変厳しい環境の中、必死に生き残り経営をしている集団です。そこに必要なのは最新の情報と、それを自社の武器にするための解説です。これらの支援が出来ますのは、工務店業界を作りたいとの思いが多いボランティア工務店の皆様と国土交通省、林野庁をはじめとする関係機関の支援のおかげと感謝申し上げます。

本年は、新築については補助金のなくなった後の長期優良住宅への取り組み、リフォームでは性能アップの改修への取り組みを大きな柱として、さまざまな対策をスタートさせます。具体的には、① JBNインスペクター制度(新築・リフォーム)の確立。②各地に長期優良住宅申請サポー

トセンターの設置。③テキストによる現場管理者養成講習。④工務店とプレカット、国産材、物流業界とで木造のスペシャリスト養成。⑤「住まいの管理手帳」を基本とした維持管理のための「いえかて」登録。⑥金融、保険業界と提携。⑦一般社団法人移住住みかえ支援機構との借上げ制度。⑧改良木造軸組(なるべく金物を使わないで長期優良住宅認定)。⑨内部真壁造で省令準耐火認定取得。⑩内外装に合法的に木を使う運動。⑪耐震、省エネ、バリアフリー改修の具体的なビジネスモデル・マニュアルの作成。⑫次世代を担う経営者の会の設立。等々具体的な事業が山積みです。

工務店サポートセンターの直接支援を受けられる JBN登録工務店の拡大にむけてさらなるご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 工務店サポートセンター  
 理事長 青木 宏之



平成23年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は木造住宅振興に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の住宅市場は、こここのところ持ち直しの兆しがみられるものの、なお着実に回復しているとは言い難い状況にあります。住宅産業は関連産業が多岐にわたるすそ野の広い産業分野であることから、今後、内需主導の経済成長を実現していくためには、住宅投資を活性化させることが重要であります。

昨年11月26日に成立した平成22年度補正予算においても、住宅エコポイントの拡充や、地域材等を活用した木造長期優良住



国土交通省住宅局木造住宅振興室  
 室長 藤本 俊樹

## JBNと工務店サポートセンターへの期待

宅の普及促進のための支援などが盛り込まれたところであり、これらの施策を着実に進め、住宅市場の活性化を促すこととしております。工務店サポートセンターにおかれましては、これまでも長期優良住宅や省エネルギー、耐震改修への先導的な取り組みを通じて、工務店の技術力向上等に積極的に取り組まれてきておりますが、今後も、これまで培ってこられた技術、ノウハウを活かし、優良な住宅ストックの構築を通じた豊かな社会づくりに貢献して頂きますよう、お願い申し上げます。

結びに、工務店サポートセンター及び JBN会員の皆様のますますの御発展を心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

●発行/お問い合わせ  
**一般社団法人 工務店サポートセンター**  
 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階  
 TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669  
 E-mail: jbn@jbn-support.jp homepage: <http://www.jbn-support.jp>  
 発行人: 藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載  
 協力: 社団法人 全国中小建築工事業者団体連合会



FSC 森林認証紙と植物油インキ (Non-VOC) を使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。また、環境保全活動を積極的に推進するグリーンプリンティング認定工場で製造しました。



## 活動報告

### 前月号以降の活動

○第1013回 役員会12月14日(火) 14:00~17:00

出席者 理事3名 執行役員4名 事務局3名

〔青木理事長挨拶〕

この一年間、ご苦労様。先月のジャパンホームショー、JBNブースは盛況で、多くの新聞で取り上げられたが、中には取材もしないで、誤解されやすい記事が掲載されるなどの問題も出ている。それだけ工務店サポートセンターが目立つ存在になったともいえる。来年は、気合いを入れて内部を固めるとともに、全体のペクトルを合わせなくてはならない。全国の工務店支援のためにもサポートセンターのさらなる強化を図りたい。

〔藤澤センター長挨拶〕

各メディアで取り上げられる機会が増えているので、それらの収集整理が必要。グラスウールのアンケートや会員の動向調査などを実施しているが、今後は、アンケートに頼るのではなく会員の登録、更新時にニーズなどを把握できるようにしていきたい。それら情報をもとに、国への働きかけや支援に反映出来るようにしたい。

〔主な報告事項〕

1) 会員実数、社員応募状況、住宅履歴登録数

2) 移住・住みかえ支援機構との提携状況

12月15日、覚書を取り交わし、登録料は150万円。当面は、新築のみとなるが、ワーキンググループによるテストケースとして進め、本格的な始動は、説明会の実施を終えてからの来年4月以降になる。機構側は、工務店サポートセンターのインスペクター制度との連動を尊重したいとの意向で、その整備を急ぐ必要がある。

3) JBN会員へのアンケート集計結果(本誌3ページ参照)

4) ホームページの刷新業務について

〔主な審議事項〕

1) 運営幹事会の扱い、位置づけ(第1012回議事録 議題4)参照

来月1月から「運営委員・委員長連絡会議」とする。

2) 来年度の予算申請とコンサルへ委託の件

工務店サポートセンターがテーマと役割分担を決めコンサルに発注する。

3) 型式講習会と修了証の発行、修了者の扱い

主催は工務店サポートセンター。共催は全建連・全建総連とし、修了証の発行は、各団体が責任を持って行い、受講者の名簿管理を確実に実行。

4) インスペクティブ体制の件

移住・住みかえ機構との既存改修に関する提携との関係もあり、インスペクティブ体制の整備を急ぐ。

5) その他

〔次回〕平成23年1月11日(火) 14:00~

### 青木理事長の動き

2010年11月12日(金)~12月10日(金)までの青木理事長の動き

- 11月
  - ・12日(金) 低炭素社会に向けた住まいと住まい方委員会(国交省)・国交省住宅生産課 グラスウール不足緊急アンケート打合せ
  - ・15日(月) 改良型木造軸組工法委員会について、西村委員長・大橋先生(京都市大)と打ち合わせ
  - ・16日(火) ジャパンホームショー(ビッグサイト)準備・木造住宅振興室長、田中専門官、センター長、増改築委員会 打合せ
  - ・17日(水) ジャパンホームショー ブース会場案内
  - ・18日(木) ジャパンホームショー 全建連全国会員団体長・事務局長会議・ジャパンホームショー 講演会(国産材とリフォーム)講師
  - ・19日(金) ジャパンホームショー ブース会場案内
  - ・26日(金) 木のまち・木のいえフォーラム幹事会
  - ・29日(月) グラスウールアンケート結果打合せ(国交省住宅生産課)・木材防腐協会 工務店の現状ヒアリング

- 12月
  - ・1日(水) 省令準耐火試験立会い(BLつくば試験所)
  - ・2日(木) 省令準耐火試験立会い・防耐火委員会WG(BLつくば試験所)
  - ・9日(木) 茨城県中小建築工業協会にてサポートセンターの取り組みと国の施策について説明
  - ・10日(金) 省令準耐火試験立会い(BLつくば試験所)・建築研究所 水流研究総括監と情報交換・増改築委員会出席(箱崎)

## 委員会・WG 報告

### 次世代の会

●第7回次世代の会

岡庭建設の家づくり ~工務店にとってのグッドデザインとは~

日 時:12月15日(水) 13:30~17:00

場 所:西東京市 岡庭建設棟

参加者:30名  
 ・岡庭建設の家の見学  
 構造現場、お引渡し済み物件(2件)、東伏見の家  
 ・岡庭建設 池田氏による講義  
 岡庭建設の家づくりとグッドデザイン賞について  
 ・マイホーム借り上げ制度の説明、次世代の会について説明

〔次回〕平成23年2月 予定

### 国産材委員会

●セミナー 「施主に納得して頂ける木材の基礎知識」

第3弾 ~国産材の生産現場を知る 後藤木材株式会社訪問~

主 催:木構造振興株式会社

共 催:工務店サポートセンター 国産材委員会

日 時:12月9日(木) 10:00~17:00

場 所:後藤木材株式会社 岐阜県

参加者:30名

・製材所(本庄工業株)、プレ

カット工場の視察

・工務店向け研修会

国産材の製材と乾燥について

・本庄工業株

国産材の生産現場からの報告

・住友商事株

国産材とプレカット・後藤木材株



〔次回〕平成23年1月13日(木) 15:00 正副委員長会議

### 環境委員会

●12月の委員会開催はなし。

〔次回〕平成23年1月26日(水) 14:00~18:00 予定

### 増改築委員会

●「高齢者居住安定化モデル事業」説明会

日 時:11月26日(金) 13:30~16:30

場 所:神戸三宮研修センター

参加者:30社

●第1009回委員会 12月10日(金) 15:00~17:00

場 所:東京シティーエアーターミナル会議室

・高齢者居住安定化モデル事業の申請状況、再募集へのエントリー状況の報告

申請・71件(着工可64件) 再募集のエントリー数-27件

・次年度のデータベース開発について

集計項目、集計結果の利用方針および図面情報のまとめかたについての確認と問題点の整理。

・H23年度事業案について

リフォーム市場活性化のための新規事業提案を国交省に提出する。

〔次回〕平成23年1月19日(水) 15:00~予定

### 防耐火委員会

●WG 12月2日(木) 11:00~13:00

場 所:アーバンホテル(つくば)会議室

・省令準耐火認定申請のスケジュール確認と外壁防火構造(大臣認定)の仕様

の確定。

〔大臣認定の仕様〕・予備試験の仕様として6仕様を案として確認。来年5月に予備試験実施の予定。

●耐火試験(壁) 12月1日・2日・3日・6日・10日

場 所:ペタリーリビングつくば試験所

省令準耐火認定のための耐火試験(壁)を実施。(4仕様8体)



### 改良型木造軸組工法委員会

●WG 12月13日(月) 15:00~17:00

場 所:建設国保会館 2F会議室

型式認定の申請内容の確認。

〔次回〕平成23年1月末 予定

### 会員団体の紹介

## 青森県優良住宅協会

発足7カ月で会員数72社、全員がJBN会員

全建連の会員団体のなかでは最新参になります。それまでは協会会員の工務店のほとんどが全建連の存在も、工務店の全国組織があることも知らなかったのです。そんな青森県で長期優良住宅法の施行を契機に、意欲のないいくつかの工務店から県内にも工務店の団体が必要だという声が高まり、急速な協会設立の機運につながったのです。そのまとめ役にあつたのが協会事務局長の石郷岡義了氏で、木材流通業、プレカット工場の経営者でもあります。地域産材の利用拡大には地域工務店との連携が何よりも重要と考え、協会設立にむけて心魂を傾けてこられました。よびかけ人となった10数社の工務店とともに会員募集をはじめたところ55社が参加することになり、2010年4月26日に設立総会がもたれました。その後、入会者が増え、11月末で72社を数えるまでになりました。

会員の全てが元請け工務店であり、JBN正会員です。それがこの協会の特徴でもあるのです。当面は、賛助会員、設計事務所会員は設けないという方針でスタートしています。会則の目的に、そのことが次のように明確に記されています。「本会は真に元請けの意識を持つ工務店経営者の組織とし、国及び地方公共団体と連携しながら、資産価値のある優良木造住宅の建設を促進し、会員の健全なる発展に寄与することを目的とする」。

この協会の主な事業の柱が、会員の事業に関する経営及び技術の改善、向上をはかることです。そのためには工務店サポートセンターが提供する情報と講習・研修が不可欠であり、積極的に活用していこうというスタンスです。発足から7か月の事業内容もそれを反映したのになっています。

5月-「長期・ちきゆう住宅」仕様書(技術基準)講習会。6月-地域木造(ちきゆう)住宅検査員資格取得講習会。7月-経営者向け講習会。9月-CASBEE戸建評価員養成講習会。11月-会員経営者懇談会。

こうした活動を通じて、会員から加盟して良かったという声ひろがり、会員増につながっている、と石郷岡事務局長は話しています。これからも工務店サポートセンターとの連携を強めるとともにその支援のもとに県の林産、ならびに住宅行政、さらには県民から信頼される工務店業界として基盤を固めと発展させたいと力強く抱負を語っておられました。(F)

## 工務店サポートセンター・統計

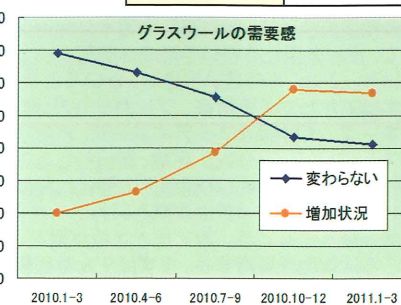
年末を控えた忙しい時期の緊急アンケートにご協力いただき有難うございました。いずれもJBN登録正会員を対象にしたFAX送受信によるもので、その結果の概要を報告します。

●住宅用断熱材の需要動向

国土交通省からの要請で11月中旬実施。有効回答数(率)は279社(18.0%)でした。

	回答数(率)
グラスウール	92(50)
発泡系材料	63(34)
その他	30(16)

住宅用断熱材の需要の動向がこの緊急アンケートで明らかに示されました。住宅用断熱材のグラスウールの利用状況は、



全体の半数を占めていますが、2010年四半期ごとの前年比需要感は、「変わらない感」を「増加感」が月を追って高まっており、年末が山となっています。この需要増感新築棟数の多い工務店ほど高い傾向がみられました。

引き続き、国土交通省の要請によりグラスウール不足に関するアンケート第2弾を実施中です。JBN工務店の声を行政にダイレクトに伝えねるためにも重ねてのご協力をお願いします。

●住宅瑕疵担保責任保険の利用動向

保険法人の利用状況を把握する目的で12月初旬に実施。有効回答数(率)は321社(20.7%)でした。

○新築住宅棟数

会員工務店の昨年1年間の実績は、1~5棟が全体の半数、そのうち1棟が1/3、2~3棟が1/3という状況です。昨年の既存住宅改修調査(本誌No.11)とあわせてみても新築市場の縮小がうかがえます。瑕疵保険を掛けた新築件数(2010年11月からの1年間)でもほぼ同様の傾向が見られます。

また、長期優良住宅の建設割合は全体の40%を上回っており、先導モデル、普及モデルの効果によるものと思われます。

総売り上げ額では、2~5億円の工務店が最も多く全体の32%、5億円以上は25%という構成でした。

住宅の棟数	昨年建設した新築住宅	保険を掛けた新築住宅	長期優良住宅の新築
	社数(率)	社数(率)	社数(率)
0件・無回答	13( 4)	16( 5)	184( 58)
1-5	142( 45)	137( 43)	108( 33)
6-10	70( 22)	72( 22)	17( 6)
11-20	46( 14)	52( 16)	7( 2)
21-50	39( 12)	33( 10)	3( 1)
51-100	5( 2)	5( 2)	2( 1)
101以上	6( 2)	6( 2)	0( 0)
計	321(100)	321(100)	321(100)

○瑕疵保険の利用状況

保険法人の利用では、会員工務店の2/3が単一、1/3が複数でした。複数ではほとんどが2法人の利用でした。また、利用した保険法人では、「住宅保証機構」が半数弱を占めますが、それに次いで3法人が拮抗している状況です。

選定理由としては、「保険料が割引になるから」が最多ですが、それだけが選定される理由でないこともうかがえます。

単一法人	64%
複数法人	31%
無回答・無効	5%

保険法人	利用率
住宅保証機構	47%
JIO	18%
ハウスジューメン	13%
住宅あんしん保証	13%
ハウスプラス住宅保証	9%
たてももの	0%

選択理由	利用率
保険料の割引	32%
付き合いから	18%
サービスがよいから	11%
仲間の薦めで	5%
営業の勧めで	5%
なんとなく	4%
その他	18%
無回答・無効	7%

●今回も紙面の都合により「北米住宅産業ツアー・レポート」はお休みしました。